

2022年3月期 第2四半期決算説明会 上期実績

2021年11月12日
副社長 齊藤 雅也

2022年3月期第2四半期の概況

□ 概況

- 新型コロナウイルス感染症の反動増で大幅な増収となり、売上・各利益段階で過去最高を更新。

□ 国内市場

- 緊急事態宣言の発令があったものの、前期不調だった日焼け止めやコンタクトレンズ及びレンズ用剤が増収、「メラノCC」「デオコ」「ロートV5粒」など話題の商品は好調持続。OEMのCOVID抗原キットも増収に寄与。
- 日本点眼薬研究所、クオリテックファーマも売上・利益に貢献。
- 販管費の増加分を大幅な増収により吸収し増益。

□ 海外も増収増益

- 全ての地域で増収増益。
- 香港・中国だけでなくインドネシアやベトナムなどアセアン地域も好調。

連結損益

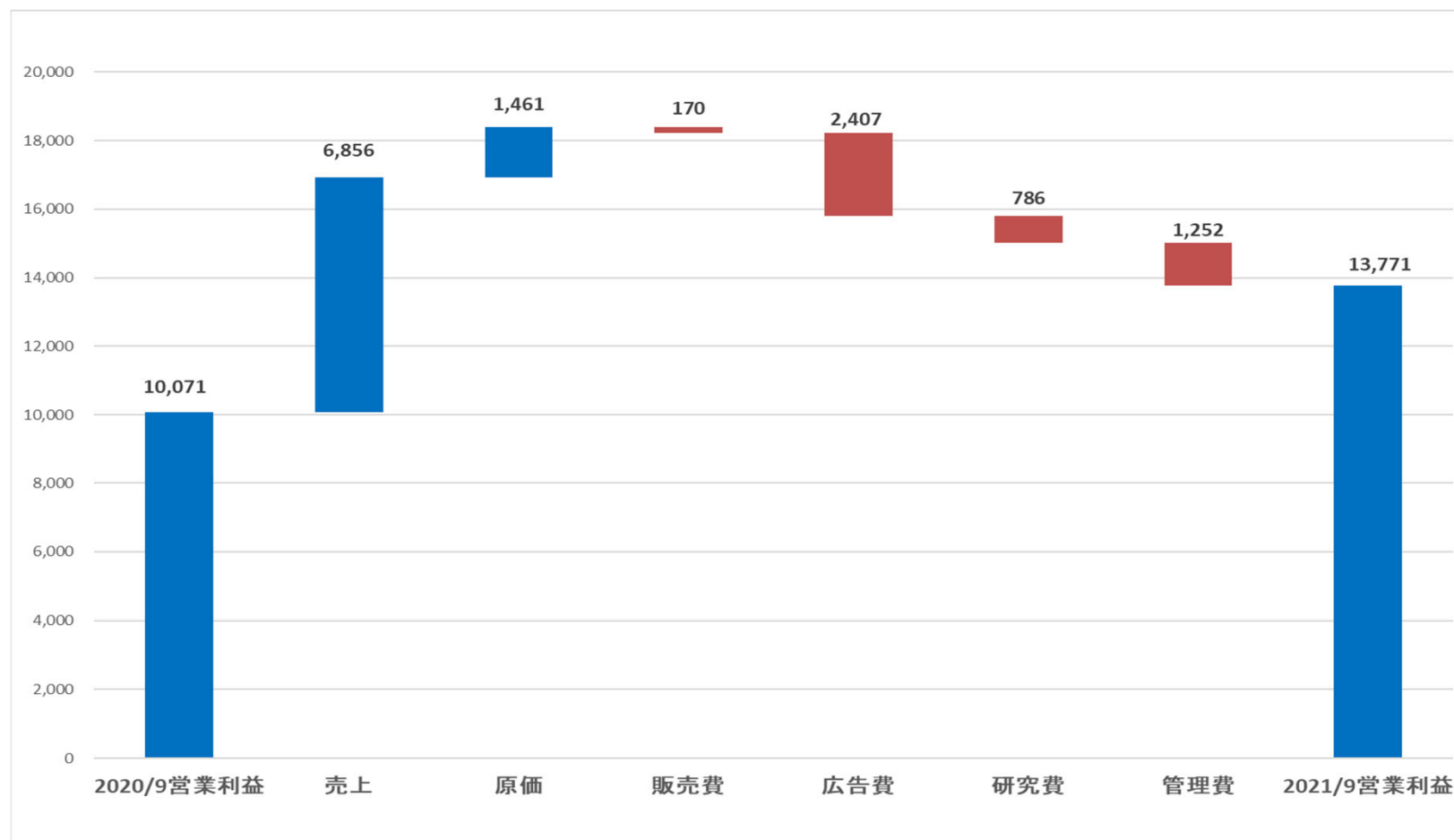
(単位 百万円,%)

	2022年3月期 第2四半期 (新基準)	売上高比	2021年3月期 第2四半期 (新基準)	増減額	増減率
売上高	91,019	100.0	78,782	12,236	15.5
売上原価	38,557		34,638	3,919	11.3
原価率	42.4		44.0		
販管費	38,689	42.5	34,072	4,617	13.6
販促費	5,313	5.8	5,142	170	3.3
広告費	10,673	11.7	8,265	2,407	29.1
研究費	4,262	4.7	3,475	786	22.6
その他	18,440	20.3	17,188	1,251	7.3
営業利益	13,771	15.1	10,071	3,700	36.7
経常利益	13,514	14.9	10,382	3,132	30.2
親会社株主に帰 属する純利益	10,756	11.8	5,695	5,060	88.9

※前年同期を新基準にした際の比較

※為替レート:USDドル=109.54円(前年同期 107.19円)

連結営業利益の増減



2020年9月
営業利益



2021年9月
営業利益

報告セグメント別売上

(単位:百万円、未満切捨,%)

	2020年9月期 (旧基準)		2020年9月期 (新基準)		2021年9月期 (新基準)				
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
売上高	83,004	100.0	78,782	100.0	91,019	100.0	12,236	15.5	
報告セグメント	日本	55,356	66.7	51,134	64.9	56,901	62.5	5,766	11.3
	アジア	19,338	23.3	19,338	24.5	24,057	26.4	4,718	24.4
	アメリカ	3,787	4.6	3,787	4.8	4,026	4.4	238	6.3
	ヨーロッパ	3,691	4.4	3,691	4.7	5,070	5.6	1,379	37.4
	計	82,173		77,951		90,054		12,102	15.5
その他	830	1.0	830	1.1	964	1.1	133	16.1	
為替レート (USD/円)	107円19銭		107円19銭		109円54銭				

※ 売上高は外部顧客に対するものです

報告セグメント別営業利益

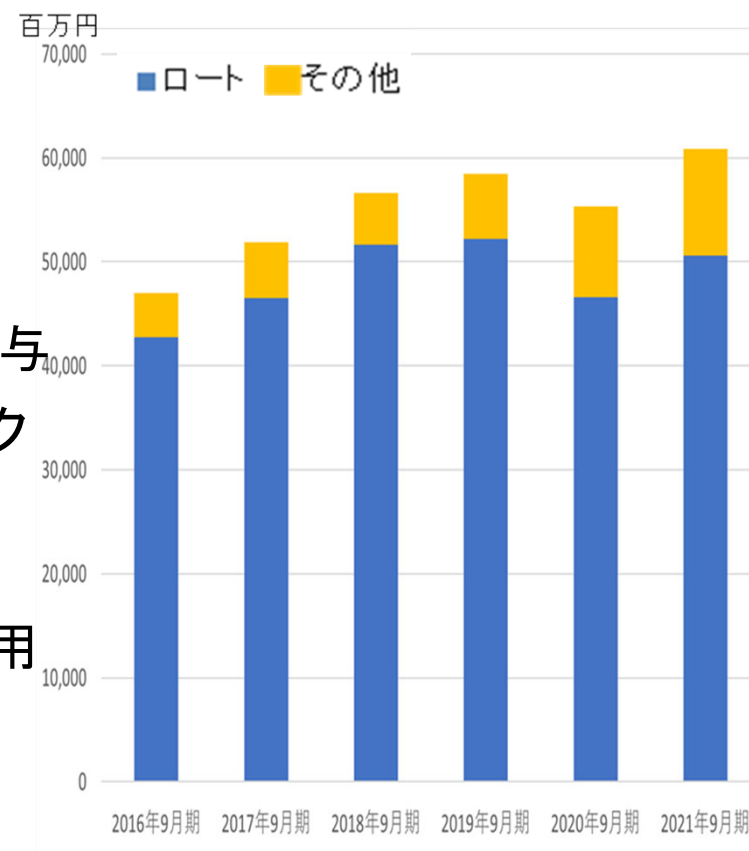
(単位:百万円、未満切捨、%)

	2020年9月期 (旧基準)		2020年9月期 (新基準)		2021年9月期 (新基準)				
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
営業利益	10,173	100.0	10,071	100.0	13,771	100.0	3,700	36.7	
報告セグメント	日本	7,191	70.7	7,089	70.4	9,359	68.0	2,269	32.0
	アジア	2,690	26.4	2,690	26.7	3,596	26.1	906	33.7
	アメリカ	△88	△0.9	△88	△0.8	147	1.1	235	—
	ヨーロッパ	248	2.4	248	2.5	385	2.8	136	55.0
	計	10,043		9,981		13,488		3,507	35.7
その他	40	0.4	40	0.4	81	0.6	41	102.4	
調整額	89		89		201		111		
為替レート (USD/円)	107円19銭		107円19銭		109円54銭				

日本 大幅な増収増益

売上高	569億1百万円	前年同期比	11.3%増
営業利益	93億59百万円	同	32.0%増

- 前期落ち込んだ日焼け止め、
 コンタクト関連品が増収
- 「メラノCC」「デオコ」「ロートV5粒」
 など話題の商品が好調維持
- OEMのCOVID抗原キットも増収に寄与
- (株)日本点眼薬研究所、クオリテック
 ファーマ(株)など子会社も貢献
- 原価率の改善と販管費の効率的活用
 により大幅増益



新型コロナウイルスの影響が一巡

□コロナ前の売上を上回る商品

- 日焼け止め 今期2,445百万円(前々期2,369百万円)
- 高額目薬 今期1.929百万円(前々期1.752百万円)
- COVID抗原キット 今期420百万円(今期新発売)



好調な
スキンアクアトーンアップシリーズ

コロナ渦の目の疲れにプレミアムシリーズが好調

□マスク着用文化の影響を受けた商品

- リップクリーム 2131百万円 (対前△18%減)

好調持続の商品群

□ SNSで話題

□ DEOCO



□ メラノCC



□ 高額目薬と連動した店頭展開で好調持続する「ロートV5粒」



越境ECが健闘

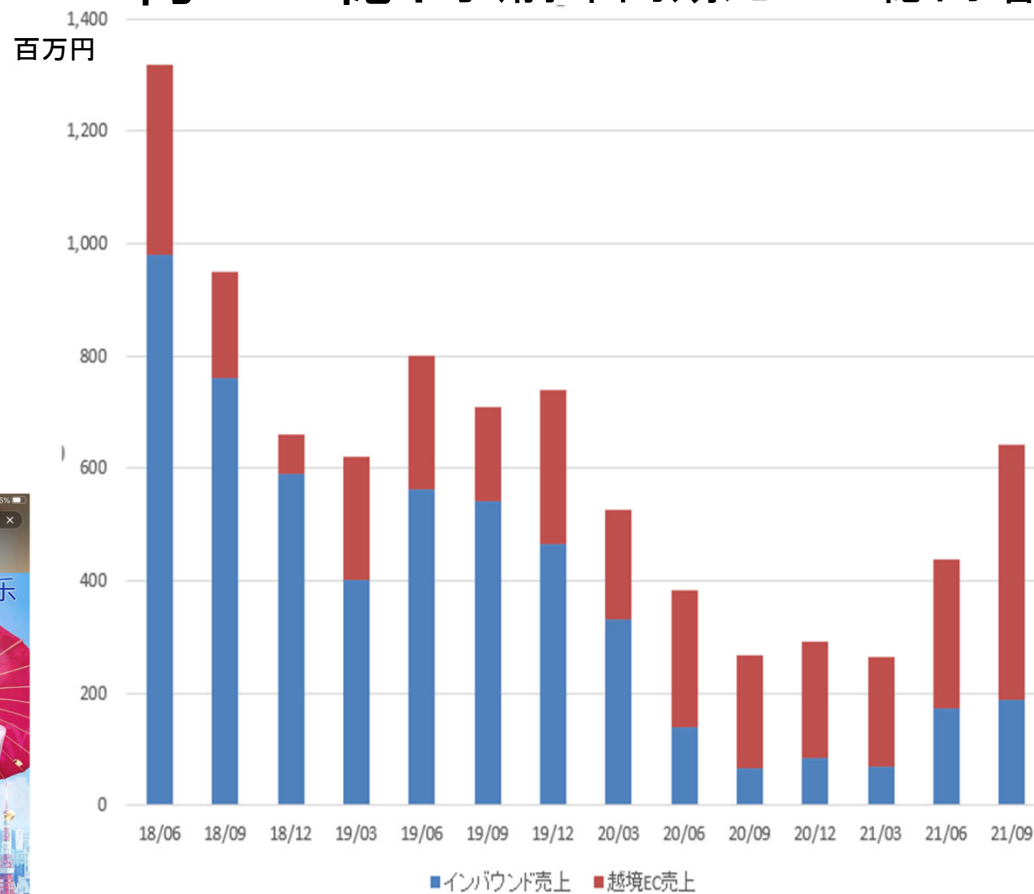
インバウンド&越境EC売上 約10.8億円 (前年同期比 4.3億円増)



圧倒的人気のマルノCC シリーズ



エプステム ステムサイエンスドリンク



インバウンド関連四半期売上の推移

アジア 大幅な増収増益

売上高	240億57百万円	前年同期比	24.4%増
営業利益	35億96百万円	同	33.7%増

□ 主力の中国・香港が急回復

□ 新生活様式による売上の変化

- 目薬 4908百万円 対前16.9%増
- アクネス 2760百万円 対前29.4%増
- 男性用化粧品 2538百万円 対前12.1%増
- ハダラボ 3513百万円 対前7.0%増
- 日焼け止め4073百万円 対前15.5%増
- リップ 292百万円 前期△327百万円



セーラムーンのリセはKOLに人気

マスク着用で需要が高まるアクネス

アジア 大幅な増収増益

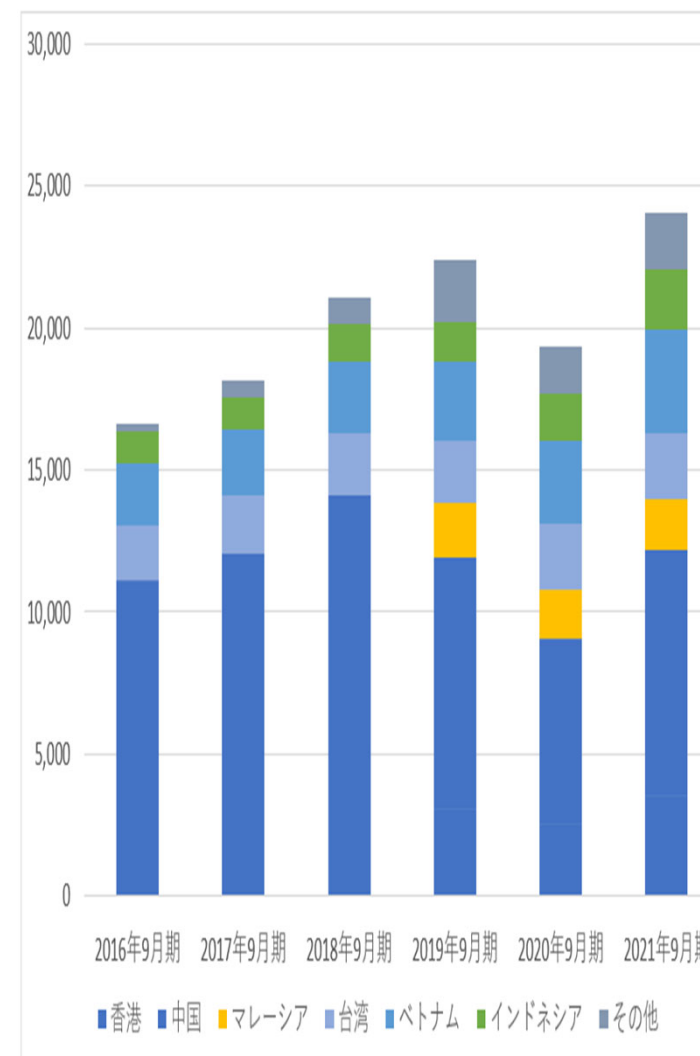
□ 主力の中国・香港が回復

□ ASEAN諸国も好調

□ 各国の売上 (前年同期比、現地通貨比較)

□ 中国	16.8%増収	12月決算
□ 香港	23.7%増収	2月決算
□ ベトナム	22.7%増収	12月決算
□ インドネシア	27.1%増収	12月決算
□ マレーシア	0.2%増収	2月決算
□ 台湾	9.8%減収	2月決算

百万円



※2019年9月期より、フラット連結を導入
 以前はマレーシアは、香港・中国に含まれる

アメリカ増収増益

売上高	40億26百万円	前年同期比	6.3%増
営業利益	1億47百万円	前年同期	△88百万円

□ 新型コロナウイルスの影響が一巡

□ 目薬好調

□ マスク着用文化の影響でニキビ薬「OXY」が好調



□ 原材料・資材等の調達コスト増による原価率の上昇があったものの販売費及び一般管理費の削減により増益

ヨーロッパ 増収増益

売上高	50億70百万円	前年同期比	37.4%増
営業利益	3億85百万円	同	55.0%増

□ 新型コロナウイルスの影響が一巡

□ 主力の消炎鎮痛剤「DeepHeat」シリーズ好調

□ 「Hadalabo Tokyo」好調

□ CEマーク点眼薬「ドライエイド」発売



日本的な
パッケージで人気の
「Hadalabo Tokyo」



ポーランドでCEマーク
点眼薬の販売を開始

□ DAXコスメティクス社も堅調

□ 広告宣伝費及びR&D費を増加

2022年3月期 第2四半期決算説明会 通期見通しと持続的成長への取り組み

2021年11月12日
代表取締役会長
代表取締役社長

山田 邦雄
杉本 雅史

ポイント

- 大幅増収で過去最高益更新へ
 - 各地域とも増収
 - 日本が大幅な増収増益
 - 天藤製薬を9月より連結対象
 - 新型コロナからの回復は上期で一巡
 - With コロナへの対応
 - アジア・中国での取り組み
 - 中国・香港の現状とWイレブンに向けた販促活動
 - ASEAN諸国はロックダウンの影響も
 - 通期業績予想を上方修正
 - 18期連続増配予定
-

通期 業績見通し

(単位:百万円、未満切捨,%)

	2020年3月期	売上比	2021年3月期	売上比	2022年3月期 予想	売上比	増減額	前期比
売上高	188,327	100.0	181,287	100.0	190,000	100.0	-	-
営業利益	23,085	12.3	22,990	12.7	25,000	13.2	2,009	8.7
経常利益	22,735	12.1	23,910	13.2	25,000	13.2	1,089	4.6
親会社株主に帰属 する当期純利益	15,410	8.2	16,743	9.2	18,000	9.5	1,256	7.5
1株当たり 当期純利益(円)	135.13		146.78		157.80			

為替レート
 USD/円

109円05銭

105円96銭

112円

※2022年3月期売上高予想は新収益認識基準を適用している為、増減額、前期比は記載していません

新収益認識基準の適用による影響

□2021年度より新収益認識基準を適用
 実質的には10.1%の増収見通し！

(単位:百万円、未満切捨,%)

	2021年3月期 (旧基準)	売上比	2021年3月期 (新基準)	売上比	2022年3月期 予想	売上比	増減額 (新基準)	前期比
売上高	181,287	100.0	172,643	100.0	190,000	100.0	17,356	10.1
営業利益	22,990	12.7	22,973	13.3	25,000	13.2	2,026	8.8
経常利益	23,910	13.2	23,893	13.8	25,000	13.2	1,106	4.6
親会社株主に帰属 する当期純利益	16,743	9.2	16,726	9.7	18,000	9.5	1,273	7.6

報告セグメント別売上予想

(単位:百万円、未満切捨、%)

		2021年3月期 (旧基準)		2021年3月期 (新基準)		2022年3月期 (新基準)			
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高		181,287	100.0	172,643	100.0	190,000	100.0	17,356	10.1
報告セグメント	日本	115,629	63.8	106,985	62.0	117,700	61.9	10,714	10.0
	アジア	48,056	26.5	48,056	27.8	52,100	27.4	4,043	8.4
	アメリカ	7,687	4.2	7,687	4.5	9,400	4.9	1,712	22.3
	ヨーロッパ	8,149	4.5	8,149	4.7	9,000	4.7	850	10.4
	計	179,522		170,877		188,200		17,322	10.1
その他		1,764	0.9	1,764	1.0	1,800	0.9	35	2.0
為替レート (USD/円)		105円96銭		105円96銭		112円			

※ 売上高は外部顧客に対するものです

報告セグメント別営業利益予想

(単位:百万円、未満切捨,%)

	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期予想				
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
営業利益	23,085	100.0	22,973	100.0	25,000	100.0	2,026	8.8	
報告セグメント	日本	14,852	64.3	14,639	63.8	16,900	67.6	2,260	15.4
	アジア	7,220	31.3	6,926	30.1	7,100	28.4	173	2.5
	アメリカ	283	1.2	458	2.0	300	1.2	△ 159	△ 34.7
	ヨーロッパ	217	0.9	375	1.6	400	1.6	24	6.4
	計	22,573		22,399		24,700		2,300	10.3
その他	142	0.6	118	0.5	100	0.4	△ 19	△ 16.1	
調整額	369	1.6	455	2.0	200	0.8	△ 256		
為替レート (USドル/円)	109円05銭		105円96銭		112円				

Withコロナへの対応

□ ECチャネルの強化

- D2C事業に注力
- Amazon、ロハコ成長

□ Withコロナの新製品

- 乾燥荒れ肌を元から治す「メンソレータム アレビット」
- ひと塗りで密着して落ちにくい「プレミアムメルティクリームリップ」
- 消毒できる薬用ハンドミルク「メンソレータムハンドベール ウィルフリー」
- 1回使い切り「ロートクリニカル抗菌目薬i」



中国・ASEAN諸国の状況

□ 中国・香港

- 新型コロナの正常化が進んだものの、世界経済の減速、原材料価格の高止まりなどにより、中国景況感悪化が続き個人消費にも影響が懸念される。
- W11を前に買い控えの動きもあるが、ライブストーリーリングは過熱気味。W11の予約状況は堅調。



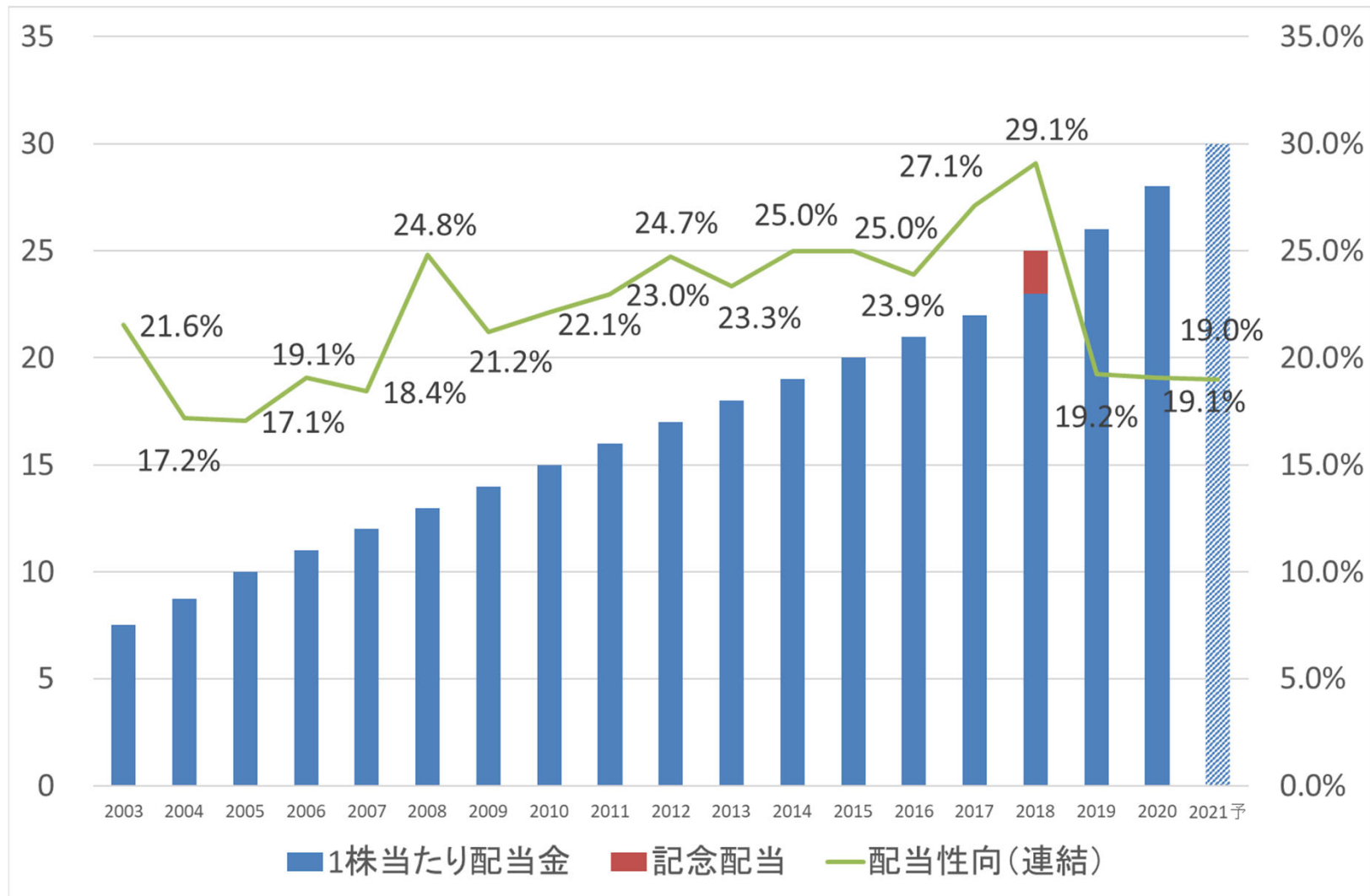
□ ASEAN諸国

- ロックダウンの影響

ベトナム・マレーシア・台湾など規制強化もあり生産や販売にも影響が出ている。

天猫企画に合わせた淘宝ライブやTiktok、RedbookでのKOL動画配信

18期連続増配予定



持続的成長と 社会的課題解決に向けて

□ OTCリーディングカンパニー
へ進化

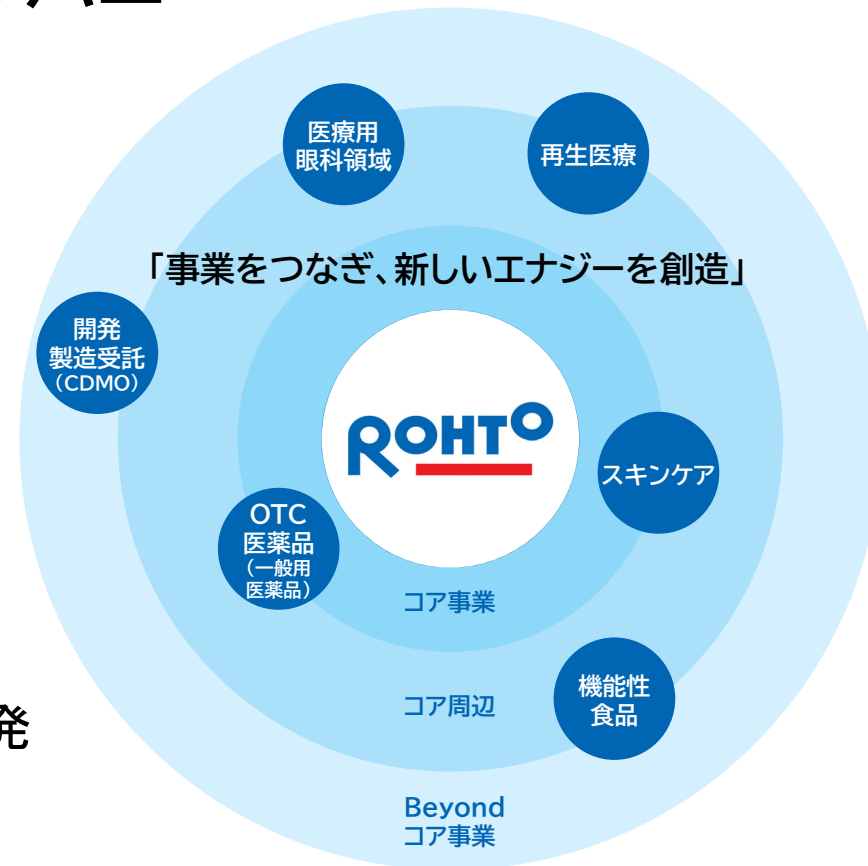
- スキンケア領域
- 機能性食品

□ 医療用医薬品

- 再生医療
- 眼科領域

新薬開発・医療機器開発

□ 開発製造受託(CDMO)



OTCリーディングカンパニーへ

□ コアビジネスの強化

□ M&A・業務提携

- 天藤製薬の子会社化

- ファーマフーズとの業務提携

- 米国Hydrox Laboratories社の取得

□ アジア・中国でのヘルスケア領域の強化

□ 共創マーケティングの取組

□ スキンケア領域の強化

- ビタミンCのスキンケア領域への展開強化

- 男性用化粧品の強化

□ 機能性食品開発強化

M&A・業務提携

□天藤製薬の子会社化

- 『日本におけるOTC医薬品リーディングカンパニーを目指す』に向けたアクション
- 天藤製薬の既存事業からの利益貢献に加え、ロートの海外インフラを活用した新規の展開により、グループとしての価値向上を目指す

□ファーマフーズとの資本業務提携

- 機能性食品の販売強化



米国Hydrox Laboratories社の取得

□ Hydrox Laboratories社の概要

- 創業1913年、消毒用アルコール製剤、うがい薬などパーソナルケア製品を病院等の業務用ルートで製造販売。
- メンソレータム社にない高濃度アルコール製品や過酸化水素水製品に対応した設備と許認可を保有。
- 2020年度売上はコロナ特需で約51百万ドル、当期は38百万ドルを見込む。

□ WITH コロナへの対応

- コロナ特需が一巡し一般消費者向け市場は厳しいが、病院、介護施設などのニーズに対応した殺菌、消毒、洗浄剤は強み。
- 高濃度アルコールを含む製品の開発及び既存製品の内製化を促進することが可能となり事業分野の拡大、売上拡大を図る。



主要製品

□ GBA プロジェクト

- 急成長している中国南部のグレートベイエリア (GBA) において、深圳をモデル都市として取り組み、成功事例を他のGBA都市に展開

中国南部の売上を3年で倍増をめざす



- ※GBA 急成長している都市クラスター
2020 GDP: 人民元11T(11%)
2020年の人口: 7800万人(5.5%)

□ Home Delivery (Online to Offline)への対応

- ※オンラインからオフラインへ送客し、購買行動につなげるマーケティング方法

共創マーケティングの展開 ～Cキューブ猫耳目薬～

NEVER SAY NEVER
ロート製薬

□ 容器に猫耳がついている「ロートCキューブ」

□ お客様と一緒に作った&SNSでの巻き込み！

1. ロート公式Twitterでの投稿に大反響
2. #猫耳目薬総選挙
⇒総数37530票により3猫モデルが決定！
3. #猫耳目薬通信 毎月配信
4. 発売直前にインスタライブ
5. ドラッグストアでも話題。通販は10分で完売！



スキンケア関連を強化

□ ビタミンCのスキンケア領域 への展開強化

□ オバジ

C25セラムネオ中心にオバジブランドの拡大、拡充に注力。

□ メラノCC



□ 男性化粧品

□ メラノCC MEN

□ OXY



□コアビジネスを強化・深化

□業務改革の深化、自走化

□生産効率化による内製化促進

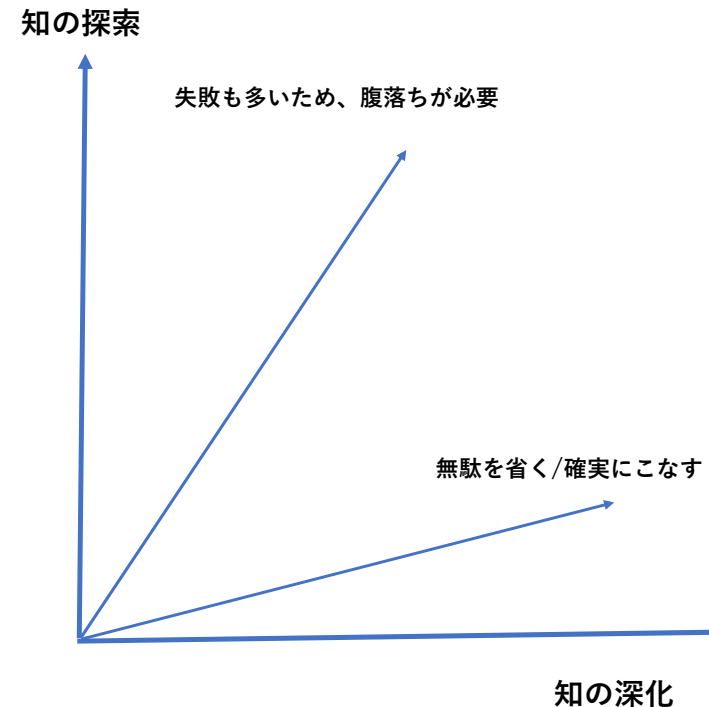
□在庫の適正化

□販管費の効率的活用

□再生医療など探索事業を切り分けてイノベーションを追い求める。

□再生医療

□医療用眼科医薬品



積極的な研究開発



再生医療・医療用眼科の進捗(2021年9月) **ロート製薬**

領域	細胞種	コード	予定適応症等	予定地域	連携先	ステージ					目標 ^{※2}
						非臨床	P1	P2	P3	申請	
再生 医療	ヒト脂肪由来 幹細胞	ADR-001	肝硬変	日本	塩野義製薬(株)						▶2021年度 治験終了
		ADR-002K	重症心不全	日本							▶2024年度 治験終了
		ADR-001	腎疾患	日本							▶2022年度 治験終了
		ADR-001	重症下肢虚血	日本							▶2023年度 治験終了
		ADR-001	肺線維症	日本							▶2023年度 治験終了
		ADR-001	新型コロナ肺炎	日本							▶2022年度 治験終了
	ヒト臍帯由来 幹細胞	UVI-001	神経変性疾患	日本							▶2023年度 治験終了
	軟骨細胞 キット ^{※1}		外傷性軟骨欠損	日本							▶2022年度 治験終了
		変形性関節症	日本							▶2024年度 治験終了	
医療用 眼科		ROH-101	CMV ^{※3} 角膜内皮炎	日本	Théa、エムズ サイエンス(株)						▶2025年 承認
		ROH-201	ドライアイ ^{※4}	日本	日本たばこ 産業(株)						▶2027年 承認

※1：インターステム社(当社子会社) ※2：目標は連携先との合意ではない当社の目標 ※3：サイトメガロウイルス ※4：シェーグレン症候群患者を含めたドライアイ患者

ESG情報開示への取組

- 統合レポートの作成、開示（2021年11月）

 - TCFDへの賛同（2021年6月）
 - 環境への取組

 - サステナビリティ委員会の設立
 1. サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）の審議
 2. サステナビリティ推進に係る目標（KPI）の審議と進捗管理
 3. 気候変動が事業に与えるリスクと機会の把握、シミュレーションと対応策の審議
 4. ステークホルダーへの効果的な情報開示に関する審議

 - プライム市場の選択申請の予定
-



- 再生医療・医療用医薬品への取り組み
- コーポレートガバナンス体制の進化

- 業務改革の深化と自走化
- M&A・業務提携

＜注意事項＞

この資料に記載されている当社の現在の業績、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。したがって、実際の業績は様々な要因の変化により記述している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。